

やえせ

Yaese

5



白川小学校リコーダー同好会、 全日本リコーダーコンテストで二年連続金賞! さらに県内初グランプリ“花村賞”受賞!

3月26日、「第27回全日本リコーダーコンテスト」が東京都江戸川区総合文化センターで開催され、小学生から一般まで全国から各都道府県を代表して134団体が出場しました。八重瀬町立白川小学校（比嘉泰男校長）からリコーダー同好会のメンバー78名が出場し、曲目「ブルートレイン（広瀬量平作曲）」を演奏し、昨年に引き続き金賞に輝きました。また、特にすぐれた団体に与えられる「花村賞」を沖縄県で初めて白川小学校が受賞しました。

今大会5名の審査員からは「エネルギー溢れるすばらしい演奏だった。」「表情豊かでよかったです。低音の音がよく合っていた。」「迫力があり工夫も見事。作曲の広瀬氏にも是非聞かせたいのでテープを送って欲しい。」「曲想をたいへんよくとらえドラマティックですべてに関してすばらしい感動の演奏でした。」「難しいところもたくさんあったと思うが、よくまとまっていてすばらしかった。これをきっかけにリコーダーの世界に興味をもっていただきたい。」とすばらしい褒め言葉をいただいています。

中村町長は「八重瀬町にこんなにもすばらしい学校、生徒達がいることを誇りに思う。生徒達が、学習やスポーツも頑張りながら、趣味を生かしリコーダー演奏に励んでいふところもとても良いことだと思う。花村賞を受賞したことを誇りに、これからも自信をもっていろいろなことに挑戦してほしい。」と話しました。

4月1日現在 町の人口：26,458人(-55)

男 13,302人(-49)

女 13,156人(-6)

世帯数 8,694(+13)

※()内は先月比です

東風平中学校 おやじの会 歌完成

町内の児童生徒の健全育成を願い奉仕活動をしている「東風平中学 おやじの会」の歌が完成しました。

作詞は、作詞家、陶芸家（沖縄県認定工芸士）の親川唐白氏、作曲は、（社）日本作曲家協会会員、八重瀬町字富盛出身の石川詩芽氏がなさいました。ご両氏のご協力でおやじのたましさ・優しさ、地域の協力の大切さ、家庭の明るさを歌った「おやじの会」の歌ができましたので紹介します。



八重瀬町誕生を記念し 甕の贈呈と、八重瀬町 社会福祉協議会へ寄付

（本社・名護市、代表取締役・松田亮）は八重瀬町字仲座で、県内では初めての地ビール工場とレストランを併設した「ヘリオスブルワリー＆レストラン」を経営しています。平成15年12月には、その隣接地に「主窯」（ぬいしがま）と名付けた登り窯を完成させ、泡盛成窯を作りをスタートしました。主窯は、泡盛成窯の土にこだわり、つや出しの釉薬も一切使わず、薪を燃やして焼くという伝統技術が特徴です。3月23日、同社の松田社長から中村信吉町長に、飾らせてもらいます」とお礼を述べました。また、ヘリオスブルワリー＆レストランでは、前庭をイルミネーションで飾りつけており、昨年末の第5回おきでんイルミネーション大賞の奨励賞を受賞し、その賞金5万円を全額町社会福祉協議会へ寄付しました。



中村町長（写真左）に自社で制作した甕に入った古酒を贈ったヘリオス酒造の松田社長（写真右）

東風平中学校野球部が九州制覇

沖縄県選抜バスケットチーム1名、
沖縄県ソフトテニスチーム6名派遣し好成績残す！

第3回九州中学生選抜大会の準決勝と決勝戦が26日、宜野座村運動場で行われ、東風平中学校野球部が長崎県の長与第二中学校を3対1で下して初優勝を飾りました。また、バスケットボールの沖縄県選抜選手に西城一菜さんが選ばれ、中村町長は「さすが伝統校！町としても伝統校として今後も活躍、発展してもらいたいです。」と、野球部においては、全国大会に向けての練習に励み、ぜひ優勝旗を八重瀬町に持ち帰ってきて下さい。バスケット、ソフトテニスにおいても、練習に励みさらなる活躍を期待しています。」と話しました。



4月5日 表敬訪問にて

農林水産戦略品目の拠点産地の認定 八重瀬町、小ぎくの拠点産地 として認定される！

3月30日、3市町村が沖縄県の農林水産戦略品目の拠点産地として認定証が交付され、八重瀬町は「小ぎく」の品目で認定されました。拠点産地の理念は、組織を持ち、「定時・定量・定期」の出荷原則に基づき一定量の生産物を安定的に出荷し、消費者や市場から信頼されるうる産地であることです。

八重瀬町は「小ぎく」が県内第7位の生産地で、平成16年の生産実績は、作付面積443ha、出荷数量16,549千本、出荷額548百万円となっています。生産出荷組織としてJAおきなわ具志頭・東風平支店花卉部会（40戸）、沖縄県花卉園芸協同組合具志頭・東風平支部（16戸）が設置され、計画的な生産出荷に取り組んでいます。中村信吉町長は「今回小ぎくの拠点産地として認定され、大変嬉しい思います。町の財産であり、県のご支援・ご協力を得ながら、これからもJA・農家と共に力を入れて安定した供給体制を維持していきたい」と話しました。



農林水産部長より中村町長へ拠点産地認定証が交付されました。